

## 正副議長の紹介



議長  
中原 秀文



副議長  
中村 文明

経歴：平成23年に初当選し今期が4期目。副議長、議会運営委員長、総務財政常任委員長等を歴任。

経歴：平成23年に初当選し今期が4期目。総務財政常任委員長、産業建設常任委員長等を歴任。

### 就任のあいさつ

このたび、令和6年第2回臨時会において第90代議長ならびに第85代副議長に就任させていただきました。

昨今の社会を取り巻く環境は、常に変化を続けております。本市においても厳しい財政状況の中、少子高齢化や物価高騰対策など、さまざまな課題への対応が求められておりますが、市長をはじめとする執行部と議論を重ね、市民の皆さまにとって本市がより住み続けたいまちとなるよう全力で取り組んでまいります。

今後も皆さまのさらなるご支援とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

## 決議

6月26日に川合市長および新保教育長に対する決議案が提出され、原案可決となりました。決議の内容は以下のとおりです。

### 川合善明市長と新保正俊教育長に猛省を求める決議

本市教育委員、嶋野道弘氏が学校教科書を出版する事業者の編集委員であることが、6月13日の片野広隆議員の一般質問で明らかになった。学校教科書の選定では編集に関わる人物の関与を禁じている。同氏は平成31年に教育委員に任命され、令和5年に再任されている。一般質問の中で、同氏が教科書の編集に関わっていることについて市長は、最初の任命後、把握したとしている。

教科書の選定を決するのは極めて限られた人数の教育委員が行っており、そもそもこの選定に関わることができない人物を教育委員として提案すること自体が不適切である。市長および教育長は、この事実を知りながら、1名が欠けた状態で教科書の選定を行い続けてきた。さ

らに、令和5年には事実を知りながら、議会には何らの情報も示さないままに同氏を再任する同意案を議会に提案した。

これらは、市民から教科書選定に疑念を持たれる原因になる。また、議会に十分な情報を示さずに同意を求めるのは、議会の意思決定を歪め、信頼関係を損なうものであり、断じて容認できない。

市議会は、市長と教育長に猛省を求めるとともに、適切な教科書選定が行えるように対応を求める。

右、決議する。

令和6年6月26日

川 越 市 議 会

## 議場コンサート

6月4日、今定例会の開会日に議場コンサートを開催しました。

今回は、箏奏者の高橋てるみさんにより、『通りゃんせ変奏曲』『水の変態』『ふるさと変奏曲』の3曲を演奏していただき、議場を盛り上げていただきました。



議場で演奏を行った高橋てるみさん

## 編集後記

うだるような暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。6月定例会では、補正予算を含め17の議案が上程され、議決されました。今回は、オーバーツーリズム対策に関連する予算が盛り込まれております。

先日、議会だよりを多くの市民の皆さまに読んでいただけるよう、広報紙編集委員会で視察に行っていました。この視察を生かし、今後も市民の皆さまのご意見を取り入れ、より良い紙面作りに努めてまいります。（小島 洋一）